



羽村市立栄小学校
学校だよりNO. 6
令和7年9月1日

新聞を活用して…

校長 梶 まゆみ

夏季休業が明け、子供たちが元気に登校し、2学期が始まりました。一回り大きく成長した子供たちに会えて、うれしく感じました。

また、夏季休業中には、保護者や地域の方には学校支援ボランティアとして、様々なところでご協力をいただきました。7月下旬の蔵書点検、「学びの場」での見守り支援など、栄小の子供たちのために、たくさんのご協力、温かいご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

まだまだ残暑が厳しいようです。安全に配慮しながら、2学期の教育活動をすすめてまいります。運動会や音楽会をはじめ、様々な活動で子供たちが良さを発揮し、活躍できるよう、全教職員で知恵を出し合い教育活動を工夫していきます。

正面玄関に、今年から2～3社の新聞が閲覧できるコーナーを作りました。これは、栄小NIE（Newspaper in Education「教育に新聞を」）の取組の一つです。1学期にはその新聞を活用して、6年生は記事を読み自分の考えをまとめてスピーチしたり、5年生は紙面から言葉を抜き出し、「だれが・どこで・何をした」のゲームを移動教室のバスレクとして行ったりしました。

また、私自身、前回の学校便りで「AI」と「環境調整」について書いたことがきっかけとなり、夏休み中に、話題の「AI」に関する新聞記事をスクラップしてまとめてみました。（校長室前に掲示しています。）

スクラップした記事の見出し（抜粋）

○AIで医療書類作成

○リスクふまえ熟議を生かす

○愚痴や悩み チャットGPTに

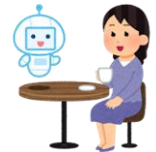
△AIへの愛着に潜む危険

○買いたい品AIが提案

△悪質サイトにだまされるリスク警告

△使い方次第で加害者に

△ディープフェイク 悪用広がる



AIの光と影に関する記事が毎日のように新聞に掲載されていました。AIはインターネット上の情報をもとに文章等を作り出しています。人手不足の医療現場を助けたり、人の愚痴を聞いてくれたり…。人を助けてくれることも多くありますが、リスクや限界もあります。AIがもっともらしく誤った回答をする「ハルシネーション（幻覚）」と呼ばれる現象はまだ解消されていないことも念頭に置き、AIの情報を精査することが大事です。

子供たちには、AIやインターネット等から得た情報を鵜呑みにするのではなく、「自分で考え判断すること」や「自分で作り上げること」を忘れずに「相手を思いやる行動ができる人」になってほしいです。学校では、子供たちがタブレット端末をよりよく使い活用できるよう、今後も指導していきます。また、NIE実践指定校としていただいている新聞を活用し、子供たちが活字に触れ「読んで考える力」を伸ばせるようにしていきます。

ぜひ、ご家庭でも「活字に触れ、読み、考える」ことや「考えたことを話す」ことなどを、お子さんと一緒に楽しんでみてください。



●●運動会の種目についてのお知らせ●●

今年は残暑が厳しく、暑い日が10月まで続くという予報がでています。偶数学年で実施していた学年リレーですが、熱中症や暑さのために練習時間を十分確保できないことも懸念されるため、学年リレーではなく、全学年が徒競走を実施いたしますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。